

こども研究センター 平成 26 年度 活動報告

平成 26 年 4 月より関東短期大学の付設機関としてこども研究センターが開設された。本センターは、子どもの教育や保育に関する研究をするとともに、その成果を地域に還元すべく、以下のような地域支援活動を行うことを目的としている。

対象者	支援内容
地域の保育所・幼稚園・施設	・ 保育者や職員を対象にした研修会・講演会への講師派遣 ・ 保護者を対象にした講演会への講師派遣 ・ 保護者を対象にした子育て相談や発達相談の開催
保育者を目指す高校生	・ 高校への講師派遣
子育て中の保護者	・ 公開講座

開設初年度の今年度は地域の子育て中の 3 歳～就学前の子どもの子育てをしている保護者を対象にした公開講座を以下の日程・内容で開催した。なお、年少児の保護者も参加しやすいように、本学学生ボランティアと教員による 3 歳以上の子どもの託児サービスも行った。

「パパ・ママいきいき子育てレッスン 1・2・3 (ワン・ツー・スリー)」

開催日	講座名	講師
第 1 回 9 月 20 日 (土)	知ると子育てが楽しくなる!? 育ちの道すじ	こども学科講師 桑原千明
第 2 回 10 月 11 日 (土)	子どもがすくすく育つ上手なゲーム・ ネットとのお付き合い	こども学科講師 松尾由美
第 3 回 11 月 29 日 (土)	牛乳・卵アレルギーのお子さんも一緒に 食べられるおいしいおやつづくり	こども学科講師 水野三千代

来年度以降も、引き続き、こども学科での研究・教育成果を地域に活用すべく様々な活動に取り組んでいきたい。

ヴェルボトナル言語教育研究所 平成 26 年度活動報告

平成 26 年 4 月より旧ヴェルボトナル研究所は「ヴェルボトナル言語教育研究所」と改称され、関東短期大学の付設機関となった。活動は、これまでの方針を継続し、聴覚言語障害児を対象とした聴き取り指導、発音指導、言語指導、そしてそれらの指導法の研究、またヴェルボトナル理論と技法の普及である。

1. 指導活動

・指導は、館林（研究所）と仙台（仙台市福祉プラザ）で実施した。

活動場所	生徒数	生徒学年	指導頻度
館林市 （研究所）	14 名	幼稚園年長 ～成人	週 1 回～月 1 回 ※生徒のレベルによる
仙台市 （仙台市福祉プラザ）	6 名	幼稚園年長 ～小学校 4 年生	年 4 回 ※指導相談会として実施

2. 指導法研究

・発達障害児を対象とした発音や発話を促す技法に焦点を当てた。特に、発達障害児のなかでも、話し言葉は理解しているものの、発音や発話が困難な子どもたちを対象としている。

3. 普及活動

・普及活動は、主に夏期講習会と短大授業内で実施した。

	参加者数	参加者所属	普及活動内容	実施時期
夏期講習会	25 名	・館林市内小学校ことばの教室教員 ・保護者	理論紹介 指導法説明 ※指導法説明の際には、研究所の生徒が参加	2014 年 8 月 1 日～2 日
短大授業内	50 名	「ことばの障害」履修者	研究所紹介 理論紹介 指導法紹介	授業内適宜
	126 名	「障害児保育」履修者		

・来年度もこども学科の教育に資するような活動としていくことを考えている。